

討した。

2. 市販のシーチング、キャラコ、ローンの各材料から4cm×45cmの試料をたて、よこ、斜(30°, 45°, 60°)方向に各々50枚ずつ裁断し、それらを25種の組合わせにより、次に示す縫製条件でミシン縫いをなし、縫製直後1日後、1週間後における縫いつれおよび縫いずれを測定した。なお、同一試料につき5枚ずつの平均値を求めた。

材 料	シーチング	キャラコ	ローン
糸 (カタン)	60 S	80 S	100 S
針	11 S	9 S	9 S
針目(針/cm)	6 針	6 針	6 針
回 転 数	800回±10回	800回±10回	800回±10回
上 糸 張 力	100 g	100 g	100 g
下 糸 張 力	50 g	45 g	35 g

3. (1)シーチング、キャラコ、ローンのように、たて、よこ糸の密度が殆んど等しい平織地では縫いつれは極く僅かで0.6%以下であった。(2)布方向の組合わせによって縫いつれ率は異なり、たて方向を上にした場合は、よこ斜方向に比してやや大。(3)よこ、斜方向を上にした場合は縫いつれはみられず、むしろのび加減であった。(4)各試料とも縫いつれより縫いずれが大。(5)組合わせ方により縫いずれ率は異なり、斜方向を上にした場合は、たて、よこ方向に比してやや大。

C-32 二枚の布の縫合についての研究 —縫いつれおよび縫いずれからの検討 (第1報)—

都立立川短大 ○石毛フミ子
岡田 陽子
桜美林短大 菅原由紀子

1. 縫いつれおよび縫いずれは外観低下の問題として重要である。同方向の縫合合わせによる縫いつれおよび縫いずれの報告はあるが、異なった方向の組合わせによるものは殆んどみられない。今回は同方向ならびに異なった方向の組合わせによる縫いつれならびに縫いずれを検